

主催：NPO法人 国際臨床保育研究所
(Kid's International Clinical Childcare Center)

募集人数：30名

連続講座費用：78,000円（6回分・税込）

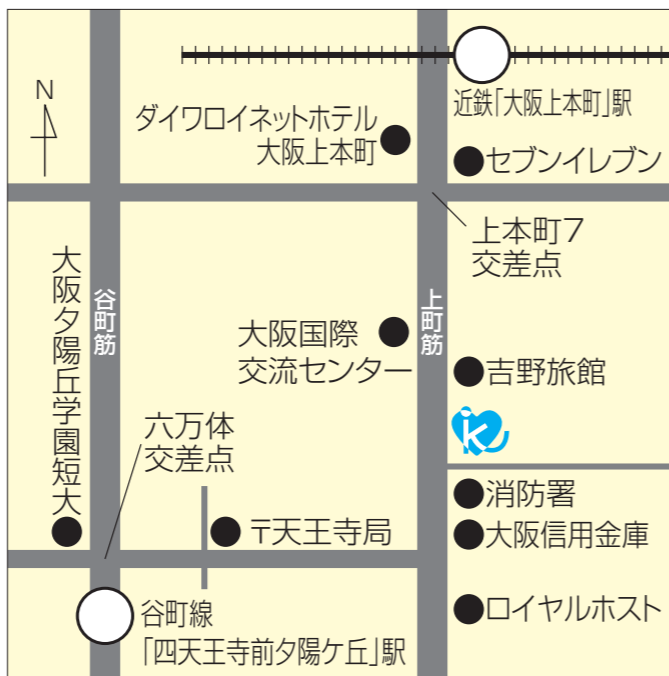
テキスト代：5,000円（辻井 正の講座のみのテキストです。）

会場：NPO法人国際臨床保育研究所
〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8-4-11
KIMURAビル5階

電話：06-6773-3348 FAX：06-6773-3008

e-mail：info@kiccc.jp

※お申し込みをいただいた方には
アクセスマップをお送りします。



- 近鉄「大阪上本町」駅、地上改札口より徒歩約10分
- 大阪市営地下鉄谷町線「四天王寺前夕陽ヶ丘」駅1番出口右、徒歩約7分
- 難波から来られる方は、近鉄「大阪難波」駅から二つ目の「大阪上本町」で降りてください。大阪上本町駅地上改札口より徒歩約10分

第2期

おもちゃセラピスト養成講座

～日本初のおもちゃライブラリー開設者・辻井 正社会学博士連続講座～

一園に一人のおもちゃセラピストを目指した専門性のある講座。

講座終了後、NPO法人国際臨床保育研究所認定のおもちゃセラピスト認定書を授与します

「障がい児保育」の枠組みで保育園を求める「ちょっと気になる子ども」が急増して、保育現場に混乱を起しているのが現状です。従来の障害のある子どもとは異なった手立てが求められ、改めておもちゃ、特に（療育的な）セラピーおもちゃの必要性が理解され始めました。

講座の内容：

1. 保育現場における「気になる子ども」の姿を述べます。
2. 保育現場で行う発達検査法（ミュンヘン機能的発達検査法）の技術を学びます。（注：当研究所はミュンヘン機能的発達検査法の使用許有）
3. セラピーおもちゃの開発者メストネック博士から講義と使い方のワークショップを受講します。
4. セラピーおもちゃによる「触覚遊び・臭覚・味覚遊び」、「視覚遊び ～色・形・様々なもの～」、「分類遊び 色から形の分類・長さ・人の分類・食べ物・動物・ものをさらに分類」、「数、数字、数える遊び 分類から数へ かすから色・形へ」の実践方法を学びます。
5. 言葉おくれの子ども絵画療法の技法を体験します。

下記の申込書に必要事項を御記入の上、
06-6773-3008までFAXをお願いいたします。

申込書

ふりがな
受講者名

勤務先

職務名

〒

勤務先住所

勤務先電話番号

FAX番号

勤務先以外へのFAXを希望される方は下記にご記入ください。（記入例：送り先は市外局番-xxxx-xxxxx。メールで送ってください。アドレスは、……）お支払い方法ですが、振込先を明記した「お申し込み確認書」をFAXします。指定の口座にお支払いください。
※昼食ですが、近辺にファーストフードや手軽な食堂などがあります。講義室で食べることもできます。

勤務先以外の連絡先



第1回 4月29日(日)

Schedule1：10時30分～12時00分

**おもちゃ遊びと
脳神経細胞の
ネットワーク理論** (理論編)

特別講師／ラリー・メストネック博士

通訳者／NPO法人国際臨床保育研究所 所長 辻井 正
三次元脳理論（ギルフォード理論）を根拠に考案されたセラピーおもちゃと脳神経細胞の働きを、スライド図説を使つての講義です。

Schedule2：13時00分～14時30分

**セラピー教具の
ワークショップ**
(実践編)

特別講師／
ジュディ&ラリー・メストネック夫妻
通訳者／NPO法人国際臨床保育研究所
研究員 辻井 明・勝山結夢

グループに分かれてセラピー教具の具体的な遊び方の実習です。テーブル上のセラピー教具を操作しながら遊びますが、メストネック博士夫妻が、それぞれのグループを回って先生方と会話をしながら遊びの指導をします。

Schedule3：14時50分～16時30分

**羊毛を使って
おもちゃを作ろう**
(保育スキルアップ)

講師／ももの家園長 西村 久容

羊毛を手のひらで何でも伸ばすと、羊毛に含まれている脂肪分の粘り気が働いて、まるで透明感があるように薄く伸びます。手のひらにのった小さな羊毛の固まりが、次第にハンカチの大きさに広がります。羊毛を使ったおもちゃの作り方を学んでください。



第2回 5月20日(日)

Schedule1：10時30分～12時00分

**でこぼことした
発達の子もたち
—発達障がい児論—** (理論編)

講師／NPO法人国際臨床保育研究所
所長 辻井 正

発達障がい児の課題は一部の発達上のつまずきからくる問題ではなくて、幅の広い発達全体的な枠組みで捉えて上げる必要があります。それ故に、医療や訓練的な関わりは一部分であり、大半は保育現場での取り組みが求められています。日常生活という大きな視野から発達障がい児を論じます。

Schedule2：13時00分～14時30分

**保育者が行う
「ミュンヘン機能的発達検査法」の技法**
(実践編)

講師／NPO法人国際臨床保育研究所
所長 辻井 正
おもちゃセラピスト 勝山結夢

保育現場に「気になる子ども」が増えるに連れて、当然、子どもに適した支援活動が求められますが、そのためにも保育者が子どもの発達を見る目としての検査能力が必要です。ドイツのミュンヘン大学のヘルブルック教授グループが開発した、保育者が行う「ミュンヘン機能的発達検査法」のやり方を学んでいただけます。

Schedule3：14時50分～16時30分

保育室に季節感を与える工夫
(保育スキルアップ)

講師／ももの家園長 西村 久容

ちょっとした季節感を持ち込む、例えば、野の花、どんぐり、木の実を使って飾るだけで、毎日、同じ空間で遊んでいる子どもたちに新鮮な刺激を与えるだけでなく、子どもたちは敏感に季節を感じ取ります。「ももの家」の実践を通じた講義だけに、受講者の先生方のクラスにも早速取り入れていただけます。



第3回 6月24日(日)

Schedule1：10時30分～12時00分

**感覚遊びから
子どもが学ぶこと
—触覚遊び論—** (理論編)

講師／NPO法人国際臨床保育研究所
所長 辻井 正

子どもの理解は、まず身近な出来事から、自分の体験したことから始まります。子どもが最も信頼できる理解の道具は「感覚」です。見る・聞く・触れる等の感覚からの学びを豊富な絵やイラストを使って講義します。

Schedule2：13時00分～14時30分

**セラピー教具を使った
感覚・触覚遊びの技法**
(実践編)

講師／NPO法人国際臨床保育研究所
所長 辻井 正
おもちゃセラピスト 勝山結夢

触覚を発達させる具体的な遊び方。例えば「ザラザラした／滑らかな」「硬い／柔らかい」「冷たい／温かい」などの概念を学びながらの遊び方を実習します。

Schedule3：15時15分～16時45分

**子どもの耳を育てる
わらべ唄遊び**
(保育スキルアップ)

講師／ももの家園長 西村 久容

部屋を静かに保つ、子どもに聴く力をつける工夫として、わらべ歌とリズム運動遊びを通して、子どもたちの集中力を傾けさせる実技です。西村先生の豊かな声量に圧倒されて受講者の先生方もうっとりとしてレッスンを受けておられます。



第4回 7月22日(日)

Schedule1：10時30分～12時00分

**ミューラーニューロン
(鏡作用の神経細胞)
—視覚からの獲得—** (理論編)

講師／NPO法人国際臨床保育研究所
所長 辻井 正

相手の行動を現実と真似なくても、相手の行動を見るだけで同じ動作をできる脳の働きを、イタリアの学者たちは発見しました。「ミューラーニューロン」と名づけられた神経細胞の活動です。この働きが模倣する、推測する、そして我々の「ことば」の働きに欠かせないと考えられています。ミューラーニューロンの働きは保育活動と深く関わっています。

Schedule2：13時00分～14時30分

**セラピー教具を使った
視覚遊びと構築遊びの技法**
(実践編)

講師／NPO法人国際臨床保育研究所
所長 辻井 正
おもちゃセラピスト 勝山結夢

視覚では、様々な側面を区別します。色の視覚、形の視覚、そして色と形が組み合わさった視覚です。これらの側面について取り上げます。

Schedule3：14時50分～16時30分

パターンブロックで遊ぼう
(保育スキルアップ)

講師／パターンブロック・インストラクター 辻井 正紀

ドイツのおもちゃ会社HABA社勤務体験から、ヨーロッパやアメリカの保育園で使われているパターンブロックに興味を持ち、ブロックの素材会社アントン・シーマ社と交渉の末、独自のパターンブロックを商品化し遊び方を広め、百貨店のイベントにおいても好評です。パターンブロックは幾何学的な考えや算数の基本概念を身につける遊びとして幼児教育界でも注目されています。



第5回 8月19日(日)

Schedule1：10時30分～12時00分

**子どもの「保存の概念」形成は
どのようにして行われるのか**
(理論編)

講師／NPO法人国際臨床保育研究所
所長 辻井 正

ものが目の前から消えてしまっても、決して無くなりはないという「保存の概念」を身につけることから、子どもの知的理解力や言語活動が行われています。この概念形成は、発達の障がいのある子どもにとっては限りなく高い壁です。「保存の概念」獲得は練習やペーパーからでは学べません。日々の遊びや保育活動から身につけることを理論的に講義します。

Schedule2：13時00分～14時30分

**セラピー教具を使った分類と
ビーズ遊びの技法**
(実践編)

講師／NPO法人国際臨床保育研究所
所長 辻井 正
おもちゃセラピスト 勝山結夢

遊びの基本はおもちゃや物を分けること。分類するから、目の前のおもちゃが分かり、そして理解(分かる、分ける)につながる。

Schedule3：14時50分～16時30分

保育空間をデザインする実践
(保育スキルアップ)

講師／ももの家園長 西村 久容

子どもが一日の大半を過ごす保育室のあり方が論議されています。特に乳児の場合、毎日通ってくる保育室であっても、最初の1時間に75～100%の子どもが不安感を持ち続けていると、ドイツの精神科医アネッテ教授は報告しています。安心して遊べる環境を工夫しデザインすることが必要です。保育室の区切り方、壁から伝えられる柔らかな装飾、天井の飾り等、保育者が工夫してあげられるノウハウを公開していただきます。



第6回 9月30日(日)

Schedule1：10時30分～12時00分

**発達障がい児をめぐる自己像の形成
—ボディ・イメージ論—**
(理論編)

講師／NPO法人国際臨床保育研究所
所長 辻井 正

1歳の誕生日を迎えた子どもを鏡の前に連れて行くこと、自ら鏡を覗き込むようににっこりと微笑みます。子どもと鏡像の発達で指摘されている自己像の認識です。発達のおくれのある子どもは強いストレスやパニック状態になった時に、自分の体に傷をつける自傷行為が見られるのは、自己像形成に関係があるといわれています。自己像形成のプロセスを講義します。

Schedule2：13時00分～16時30分

**保育現場で行う絵画と
サンド(砂)プレイの技法**
(実践編)

講師／ももの家園長 西村 久容
NPO法人国際臨床保育研究所 所長 辻井 正
NPO法人国際臨床保育研究所 おもちゃセラピスト 勝山結夢

自画像を子どもに描かせた時に、3歳児は頭部や胴体が大きく、4歳児は手や足が描かれ、5歳児は手足に指を描くことができます。しかし、発達の問題のある子どもの多くは、自画像を上手く描くことができません。基本的なボディ・イメージ感覚や自己意識が未成熟ゆえに、他者との関わり方も不十分です。三原色の絵の具を湿気のある画用紙にじませて、次々と新しい色彩を作り出す技法や人工的な色彩砂を使って形や色を創造する感覚遊びを通して、子どもの自己意識を刺激する遊びを身につけていただけます。



講師紹介

ラリー・メストネック教育心理学博士

米国優秀教具金賞・オープンハイム選集ベストおもちゃ賞・ペアレントマガジンベストおもちゃ賞・親と子どものための教育玩具賞に輝くメストネック博士の、おもちゃ遊びと脳神経細胞のネットワーク理論はユニーク。

NPO法人国際臨床保育研究所所長
社会学博士 辻井 正

旧西ドイツの障がい施設「ペーテル」で看護助手として勤務し、ケルン大学(乳児の運動神経学)で研修を受け帰国する。帰国後、日本で初めてのおもちゃライブラリーを大阪に設立。大阪教育大学、神戸女学院大学非常勤講師を経て、現在は臨床の場として、アサヒペーパー相談(朝日新聞社厚生文化事業団)のカウンセラーとして臨床に力を注いでいる。

ほいくえん ももの家園長
西村 久容

シュタイナー保育に造詣が深く、西村先生のほいくえん ももの家は各クラスが使う画用紙も手作りのものを使われているほど自然を大切にされています。羊毛やにじみ絵、わらべ歌など、技術のみでなく展開方法まで、現場の先生方が明日から使える内容がいっぱいです。

※講師の都合によりスケジュールに変更が生じる場合がございます。
※各日各講座ですが、単独で受講していただくことはできません。